

お客さま本位の業務運営の取組状況

2024年6月10日

結城信用金庫

当金庫では、2018年3月に「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を策定・公表し、お客さまの最善の利益の追求と家計の長期・安定的な資産形成のサポートに取り組んでおります。

今般、2024年3月末時点の取組状況（成果指標：KPI）を公表いたします。今後も定期的に公表するとともに、随時、取組内容を見直してまいります。

1. 当金庫独自の成果指標について

(1)お客さまの最善の利益を追求することを最優先に、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。（金融庁の原則2）

【取組状況】

- ①お客さまの長期的な資産形成に資するため、様々な資産への投資が可能になるようラインナップの充実を図っております。
- ②新NISA制度の開始に伴い、【成長投資枠対象2ファンド・つみたて投資枠対象2ファンド】を追加しました。

【投資信託取扱商品数】全25ファンド

《投資対象別》 計25ファンド

	債券	REIT	株式	バランス
国内	0	2	5	0
国内外	2	1	4	4
海外	2	1	4	0
合計	4	4	13	4

《NISAつみたて投資枠専用商品》 計6ファンド

国内株式	国内外株式	海外株式	バランス	合計
2	1	2	1	6

《NISA成長投資枠対象商品》 計14ファンド

	債券	REIT	株式	バランス
国内	0	1	3	0
国内外	1	0	3	2
海外	2	1	1	0
合計	3	2	7	2

※その他5ファンドは、NISA非対応ファンド

《決算頻度別》 計25ファンド

年1回	年2回	四半期	毎月	合計
15	3	2	5	25

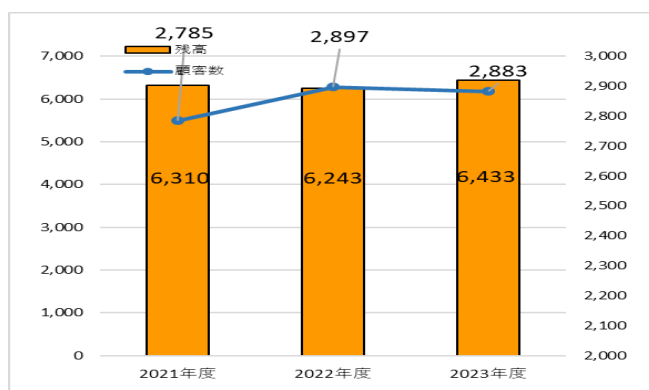
(2)お客さまの家計の長期・安定的な資産形成に適う商品・サービスの充実に努めてまいります。（金融庁の原則6）

【取組状況】

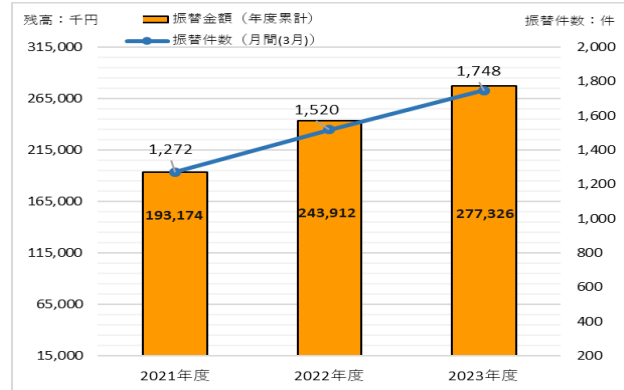
- ①当金庫は、投資信託をお客さまの長期・安定的な資産形成に適う商品と位置づけ、預かり資産残高や定時定額取引件数を重視した営業活動を展開しております。なお、お客さまの投資信託平均保有年数（*）は4.3年となっております。
- ②2024年3月末現在、前年度対比で投資信託残高は190百万円増加しました。このうち、定時定額取引は年間振替件数が228先増加振替金額は33百万円増加しております。
- ③2023年度投資信託販売に占める積立投資の比率は22.8%（前年度17.1%）となりました。

* 平均保有年数は（前年度末残高＋当年度末残高）÷2÷（年間の解約額＋償還額）で算出しております。

【投資信託残高および顧客数の推移】



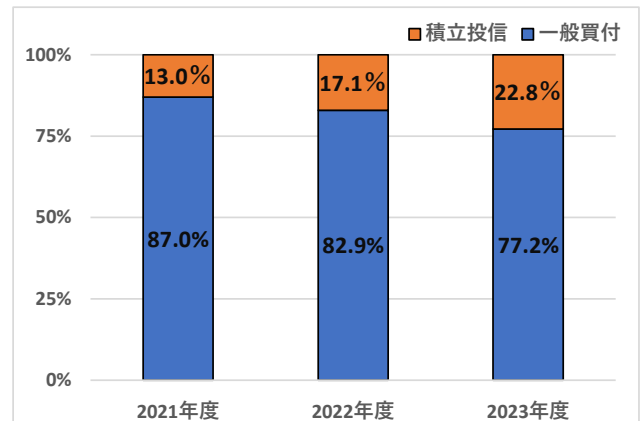
【定時定額振替件数および振替額の推移】



【NISAの利用状況】

	2021年	2022年	2023年
NISA口座数	1,103	1,235	1,408
NISA利用口座数	419	465	487
NISA利用額(千円)	199,978	220,367	169,758
(内つみたてNISA)	25,362	39,430	55,032
NISA口座利用率	38.0%	37.7%	34.6%

【販売に占める積立投資の割合】



(3)お客さまに寄り添ったアフターフォローを実施してまいります。(金融庁の原則6)

【取組状況】

- ①当金庫の経営方針「小口先数主義」に徹し、投資信託をご契約いただいているお客さまに定期的なアフターフォローを実施しております。
- ②アフターフォローにあたっては、全取引顧客の中から一定の条件のお客さまをアフターフォロー先とし、定期的なアフターフォローを行っております。また、市場が大きく変動した際には、特別にアフターフォローを実施しております。

フォロー対象延べ先数	フォロー実施延べ先数
7,584	7,584

(4)お客さまの立場に立って適切な情報をわかりやすく説明してまいります。(金融庁の原則5)

【取組状況】

- ①投資信託の販売にあたり、各種パンフレット等を用いてメリット・デメリットについてわかりやすい説明に努めております。
- ②お客さまの理解を深めいただくため、ウエルスアドバイザー社が提供するアプリ「Wealth Advisor(ウエルスアドバイザー)」を利用しております。
- ③2023年10月に当金庫と結城商工会議所が共催し、水戸財務事務所所長の梅村知巳氏を講師として「ライフプランに基づく資産形成～新NISAの活用」をテーマに講演会を開催しました。地元企業の経営者や個人のお客様約70名が参加されました。今後も、お客さまの資産形成の一助となるべく情報発信してまいります。

【タブレットアプリの画面】



【講演会】「ライフプランに基づく資産形成～新NISAの活用」



(5)手数料等の重要情報を、お客さまへ丁寧にわかりやすく説明してまいります。(金融庁の原則4)

【取組状況】

- ①投資信託の販売にあたっては、お客さまに負担していただく手数料について、わかりやすい説明に努めております。
- ②説明にあたっては、「パンフレット」や「購入時手数料に関するご説明」等を使用して説明を行っております。

【購入時手数料に関するご説明】



【商品ラインナップ】

＜ユー・エス・エフ＞ 投資信託ラインナップ											
商品名	運用会社	商品説明	運用方針	運用期間	運用開始日	運用期間	運用期間	運用期間	運用期間	運用期間	運用期間
① しんきんインテグレーションファンド2025	しんきんアセットマネジメント	国内株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	国内株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
② ニッセイ日本株種別ファンド	ニッセイアセットマネジメント	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
③ しんきんJPIX日経400オープン	しんきんアセットマネジメント	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
④ たわらノーロード 日経225	たわらアセットマネジメント	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑤ たわらノーロード TOPIX	たわらアセットマネジメント	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	日本株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑥ グローバル・インテグレーションファンド	グローバル・インテグレーション	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑦ グローバル・ハイグロウアップ成長株種別ファンド	グローバル・ハイグロウアップ	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑧ たわらノーロード 全世界株式	たわらアセットマネジメント	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑨ しんきん世界配当利回りファンド	しんきんアセットマネジメント	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑩ 三井住友Niftyダウ・ジョーンス・インデックスファンド	三井住友アセットマネジメント	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑪ たわらノーロード 先進国株式	たわらアセットマネジメント	先進国株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	先進国株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑫ たわらノーロード S&P500	たわらアセットマネジメント	先進国株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	先進国株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑬ グローバル・インテグレーションファンド	グローバル・インテグレーション	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日
⑭ グローバル・ハイグロウアップ成長株種別ファンド	グローバル・ハイグロウアップ	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	世界株式に投資し、長期的に資産を成長させることを目的とする。	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日	10年	2025年1月1日

(6)お客さまの利益が不当に害されることがないよう、お客さまとの利益相反管理を適切に実施してまいります。(金融庁の原則3)

【取組状況】

- ①お客様への提案にあたっては、一部の特定な資産運用会社等に偏った商品の提案とならないよう努めてまいります。
- ②当金庫では「利益相反管理方針」をホームページなどで開示し、内部規程に基づいて管理を徹底しております。

【当金庫取扱ファンドの運用会社別集計】

投信会社	取扱ファンド数	つみたて投資枠専用
しんきんアセットマネジメント投信	7	0
アセットマネジメントOne	4	6
三井住友DSアセットマネジメント	4	0
ニッセイアセットマネジメント	2	0
三菱UFJアセットマネジメント	2	0

(7) お客さま本位の業務運営を徹底するための人材育成や態勢整備に努めてまいります。(金融庁の原則7)

【取組状況】

- ①当金庫ではお客さま本位の業務運営を徹底するためFP資格の取得を奨励しております。
職員の提案力向上のため2023年度は合計10回の社内研修を実施し、延べ487名の職員が受講しております。
- ②当金庫では、「預かり資産残高」や「定時定額取引件数」を業績評価に反映する等、お客さま本位の業務運営を徹底するため適正な業績評価制度の整備に取り組んでおります。

【FP保有者数】

資格	2023年度
FP1級	3名
FP2級	50名

【預かり資産関連内部研修】

	2023年度
開催回数	10回
受講者合計数	487名

2. 金融機関共通の成果指標について

【投資信託の運用損益別お客さま比率の状況】

基準日時点で当金庫で投資信託を保有し、運用損益がプラスとなっているお客さまの割合は全体の83.6%となりました。

【2022年3月】

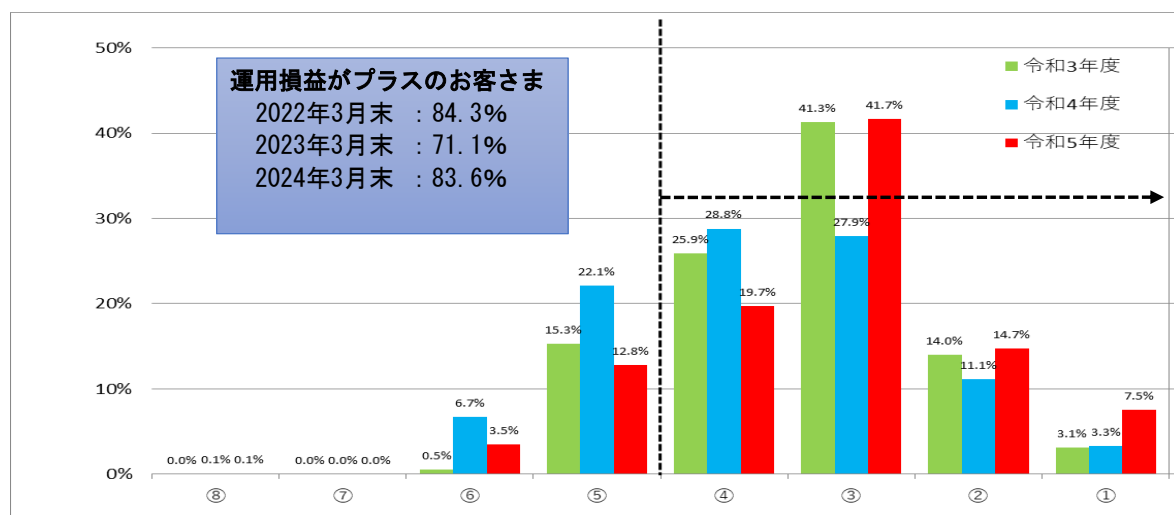
区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	85	3.1%
②	+30%以上+50%未満	390	14.0%
③	+10%以上+30%未満	1149	41.3%
④	0%以上+10%未満	720	25.9%
⑤	-10%以上0%未満	425	15.3%
⑥	-30%以上-10%未満	14	0.5%
⑦	-50%以上-30%未満	1	0.0%
⑧	-50%未満	1	0.0%
		2,785	100%

【2023年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	95	3.3%
②	+30%以上+50%未満	323	11.1%
③	+10%以上+30%未満	808	27.9%
④	0%以上+10%未満	834	28.8%
⑤	-10%以上0%未満	641	22.1%
⑥	-30%以上-10%未満	193	6.7%
⑦	-50%以上-30%未満	0	0.0%
⑧	-50%未満	3	0.1%
		2,897	100%

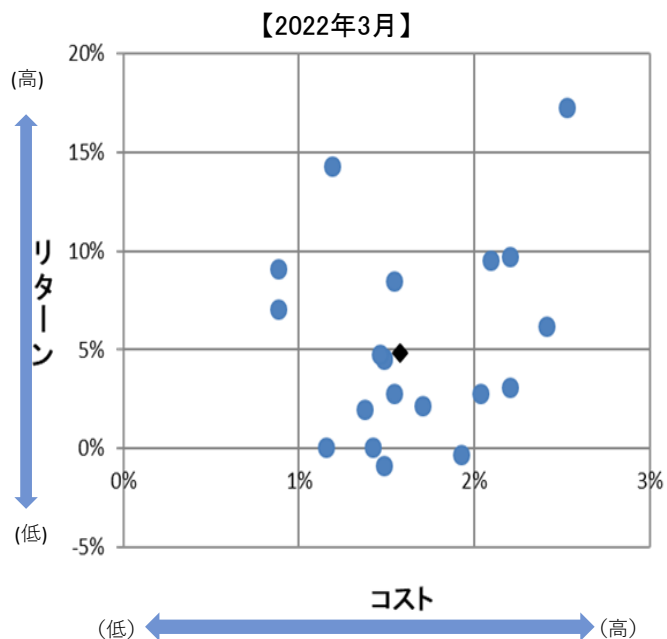
【2024年3月】

区分	運用損益	顧客数	割合
①	+50%以上	216	7.5%
②	+30%以上+50%未満	423	14.7%
③	+10%以上+30%未満	1,202	41.7%
④	0%以上+10%未満	569	19.7%
⑤	-10%以上0%未満	368	12.8%
⑥	-30%以上-10%未満	100	3.5%
⑦	-50%以上-30%未満	1	0.0%
⑧	-50%未満	4	0.1%
		2,883	100%

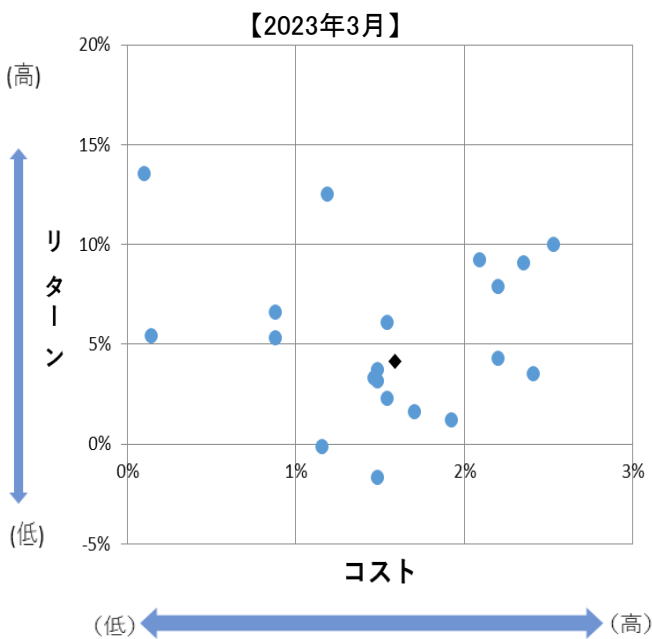


(2) 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン(設定後5年以上)

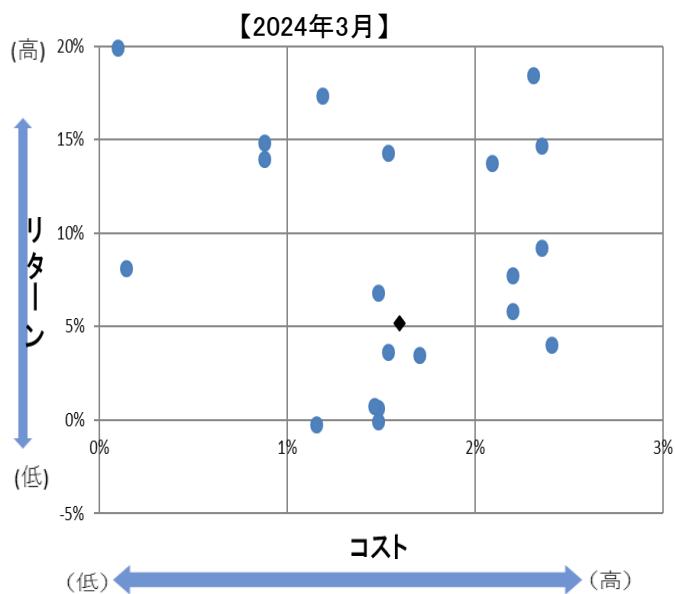
- ① 基準日2024年3月末日時時点で、当金庫のお客さまが保有している投資信託残高上位20銘柄の平均的なコストは、「1.60%」リターンは、「5.19%」、リスクは、「13.46%」となりました。
- ② 今後も、商品ラインナップの充実を図るとともに、お客さま一人ひとりの「コスト負担」や「リスク許容度」、「期待されるリターン」に合わせた商品提案に努めてまいります。



残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.58%	4.82%

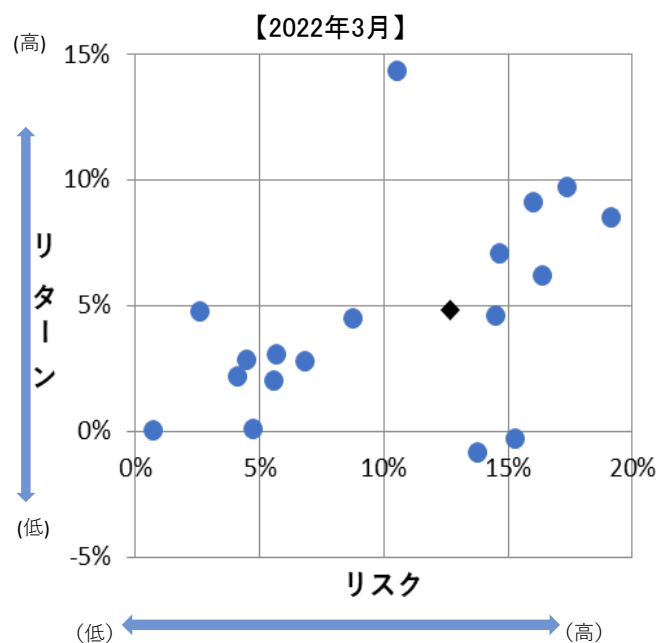


残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.59%	4.15%

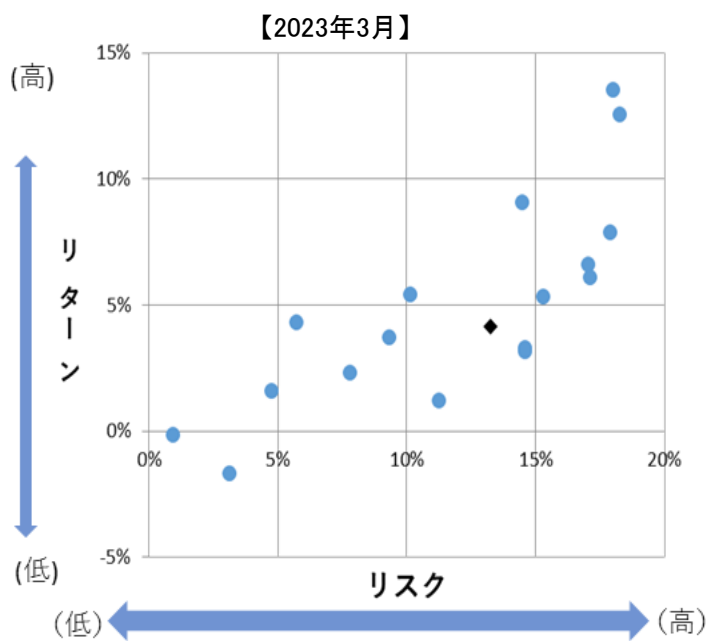


残高加重平均値 (◆)	コスト	リターン
	1.60%	5.19%

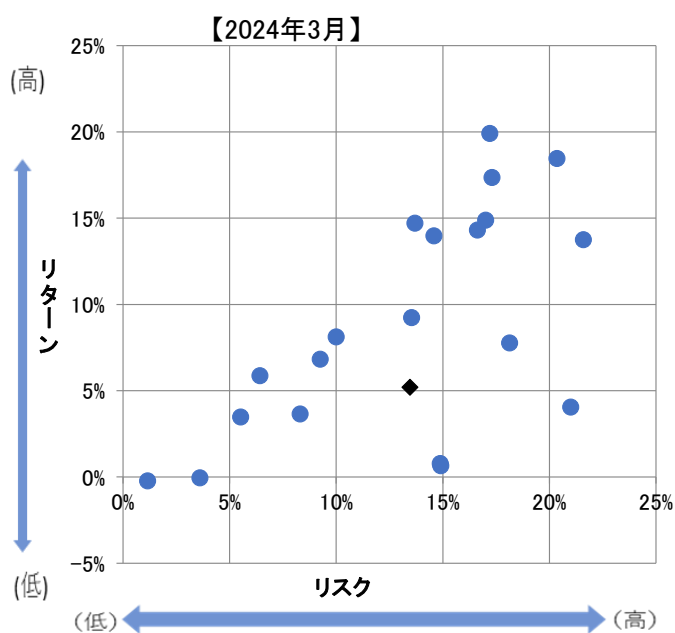
【投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン】



残高加重平均値」 (◆)	リスク	リターン
	12.68%	4.82%



残高加重平均値」 (◆)	リスク	リターン
	13.27%	4.15%



残高加重平均値」 (◆)	リスク	リターン
	13.46%	5.19%

【投資信託預かり残高上位20銘柄の個別明細】

【2022年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	14.50%	1.49%	4.59%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	8.74%	1.49%	4.51%
③	ニッセイノバナム・インカムオープン	5.68%	2.20%	3.08%
④	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	21.33%	2.09%	9.54%
⑤	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	6.84%	1.54%	2.80%
⑥	しんきんインデックスファンド225	16.00%	0.88%	9.11%
⑦	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	4.11%	1.71%	2.16%
⑧	ニッセイ日本インカムオープン	0.73%	1.16%	0.05%
⑨	三井住友・グローバル・リート・オープン	16.37%	1.54%	6.20%
⑩	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	19.16%	2.41%	8.48%
⑪	しんきんJリートオープン(1年決算型)	2.59%	1.49%	4.78%
⑫	しんきん世界アロケーションファンド	13.79%	1.46%	-0.85%
⑬	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	10.51%	1.93%	14.35%
⑭	DIAM高格付外債ファンド	15.28%	2.20%	-0.29%
⑮	新光US-REITオープン(年1回決算型)	17.36%	1.19%	9.74%
⑯	しんきんJPX日経400オープン	14.63%	0.88%	7.05%
⑰	ピムコ世界債券戦略ファンド(年1回決算型)Dコース(為替ヘッジなし)	4.50%	1.42%	2.83%
⑱	コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	4.75%	2.04%	0.07%
⑲	三井住友・ヨーロッパ国債ファンド	5.60%	1.38%	2.01%
⑳	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	12.59%	1.54%	17.26%
残高加重平均値(◆)		12.68%	1.58%	4.82%

【2023年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	14.60%	1.49%	3.17%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	9.31%	1.49%	3.74%
③	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	22.56%	2.09%	9.24%
④	ニッセイノバナム・インカムオープン	5.72%	2.20%	4.31%
⑤	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.81%	1.54%	2.31%
⑥	ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	14.48%	2.35%	9.09%
⑦	しんきんインデックスファンド225	17.04%	0.88%	6.60%
⑧	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	4.75%	1.71%	1.60%
⑨	ニッセイ日本インカムオープン	0.92%	1.16%	-0.13%
⑩	しんきんJリートオープン(1年決算型)	14.58%	1.46%	3.32%
⑪	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	17.12%	1.54%	6.11%
⑫	三井住友・グローバル・リート・オープン	20.68%	2.41%	3.52%
⑬	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	18.26%	1.19%	12.55%
⑭	しんきん世界アロケーションファンド	3.12%	1.49%	-1.65%
⑮	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	10.14%	0.14%	5.41%
⑯	DIAM高格付外債ファンド	11.25%	1.93%	1.20%
⑰	しんきんJPX日経400オープン	15.29%	0.88%	5.35%
⑱	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	20.40%	2.53%	10.03%
⑲	新光US-REITオープン(年1回決算型)	17.88%	2.20%	7.90%
⑳	たわらノーロード先進国株式	17.99%	0.10%	13.54%
残高加重平均値(◆)		13.27%	1.59%	4.15%

【2024年3月】

順位	銘柄名	リスク	コスト	リターン
①	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	14.90%	1.49%	0.65%
②	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	9.24%	1.49%	6.82%
③	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	21.59%	2.09%	13.74%
④	ニッセイノバトナム・インカムオープン	6.42%	2.20%	5.86%
⑤	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	8.31%	1.54%	3.64%
⑥	ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	13.53%	2.35%	9.23%
⑦	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	5.52%	1.71%	3.47%
⑧	しんきんインデックスファンド225	17.00%	0.88%	14.87%
⑨	しんきんJリートオープン(1年決算型)	14.88%	1.46%	0.78%
⑩	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	17.31%	1.19%	17.35%
⑪	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	16.62%	1.54%	14.30%
⑫	ニッセイ日本インカムオープン	1.15%	1.16%	-0.23%
⑬	三井住友・グローバル・リート・オープン	21.00%	2.41%	4.04%
⑭	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	10.00%	0.14%	8.12%
⑮	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	20.36%	2.31%	18.45%
⑯	しんきん世界アロケーションファンド	3.60%	1.49%	-0.06%
⑰	グローバルSDGs株式ファンド	13.69%	2.35%	14.70%
⑱	たわらノーロード 先進国株式	17.20%	0.10%	19.90%
⑲	しんきんJPX日経400オープン	14.58%	0.88%	13.97%
⑳	新光 US-REIT オープン(年1回決算型)	18.14%	2.20%	7.76%
残高加重平均値(◆)		13.46%	1.60%	5.19%

お客さま本位の業務運営にかかる基本方針

結城信用金庫

当金庫は、経営理念・経営方針のもと、お客さまの資産形成および資産運用に関する業務において、お客さまの最善の利益を追求し、お客さまの家計の長期・安定的な資産形成をサポートするため、以下の基本方針に基づき、お客さま本位の業務運営に取り組んでまいります。

【顧客の最善の利益の追求】

1. お客さまの最善の利益を追求することを最優先に、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。

【お客さまにふさわしいサービスの提供】

2. お客さまの家計の長期・安定的な資産形成に適う商品・サービスの充実に努めてまいります。
3. お客さまに寄り添ったアフターフォローを実施してまいります。

【重要な情報の分かりやすい提供】

4. お客さまの立場に立って適切な情報をわかりやすく説明してまいります。

【手数料等の明確化】

5. 手数料等の重要情報を、お客さまへ丁寧にわかりやすく説明してまいります。

【利益相反の適切な管理】

6. お客さまの利益が不当に害されることがないように、お客さまとの利益相反管理を適切に実施してまいります。

【職員に対する適切な動機づけの仕組み等】

7. お客さま本位の業務運営を徹底するための人材育成や態勢整備に努めてまいります。